

コーチングが選手の競技力に及ぼす影響
～男女サッカーのモチベーションの差に着目して～
四柳 剣吾 (競技スポーツ学科 コーチングコース)
指導教員 松田 保

キーワード：モチベーション，自立，男女サッカー

1. 緒言

本研究では、より高いレベルの女子サッカー選手を増やすためにどのような指導が適しているのか、女子と男子ではモチベーションを上げるための方法にどのような違いがあるのかを明確にすることを目的とする。

仮説として、サッカーに男女は関係ないと考え、指導方法は男女の間に差はないと考えられる。しかし、モチベーションの上げ方には男女の差が出で来ると考えられる。女子選手は指導者の言動をよく観察し、指導者と1対1の関係で物事を考える傾向にある。

そこで、女子選手には常に「見てもらいたい」という思いがあるのではと考えられる。

よって、平等にみるコーチングを求めていると考えられる。さらに、女子選手は男子選手と比較して自立度が低く、小さなことからより多く褒めてあげるコーチングが必要になると考えられる。

2. 研究方法

本学男女サッカー部と関西学生女子サッカーリーグに所属する女子サッカー部2チームの男女50名ずつにどのようなコーチングでモチベーションが上がるのか、パフォーマンスの発揮にどう繋がっていると感じているのかアンケート調査を行い、分析・結論を出す。

3. 結果と考察

男子と女子では自立度、試合中の雰囲気、トレーニング中の雰囲気の違いが見られた。雰囲気に関しては、仮説通り女子はトレーニング中であっても、試合中であっても笑顔のあるリラックスした雰囲気がモチベーションの向

上、パフォーマンスの発揮、さらには試合結果に繋がっているということが言える。

しかし、男子がより厳しい雰囲気の中でプレーをしたいと考えているかという点必ずしもそうではなかった。笑顔が多くリラックスした雰囲気であったほうが、個人的にパフォーマンスの発揮はできていると感じているものの、試合の結果には結びついていると感じていない。個人はリラックスしながらも、チームの雰囲気は厳しさを保ちながらプレーすることが必要だと考えられる。

4. まとめ

女子は男子に比べ自立度が低いということ述べたが、そのままでは日本女子サッカーのレベルは上がっていかないと考えられる。女子サッカー強豪国であるアメリカやドイツは男女平等が確立されており、男性が労働・女性が家庭といった考え方は存在しない。そのため女性の社会的地位が確立され、自立した女性が育っていると考えられる。海外で活躍してきたなでしこジャパンの選手はこのような環境で自立していき、世界で戦えるように成長したのだと考えられる。レベルの高い女子サッカー選手を育てるためには、社会的背景も強く影響していると考えられる。

引用・参考文献

女子選手の指導について

<http://sports.geocities.jp/koganei4sc/page162.html>

男女共同参画白書（平成22年版）

http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/